

## 「異文化間教育に関わる方々のためのキャリア・ライフプランニングワークショップ」報告

ネットワーキング委員会（平井・新見・高木・藪田・岩淵）

### 1. 開催概要

タイトル「異文化間教育に関わる方々のためのキャリア・ライフプランニングワークショップ」

#### <開催日時>

2023年11月11日（土）13:00-16:00

#### <開催趣旨>

異文化間教育の教育実践や研究に関わってくる中で、どのような活動にやりがいや面白さを感じてきたのかを小グループ（4人程度）内でストーリーとして語ります。次に、メンバーから自分のやる気や幸せの源泉についてフィードバックをもらうことで、改めて自分にとって大切な価値観や興味・関心を明確にしていきます。その後、それらの価値観や興味関心を大切にできる働き方や仕事の内容をイメージし、5～10年後の理想の未来のストーリーとして語り、メンバーからポジティブなフィードバックをもらうことで、明日からの仕事の活力や意味を再発見することを目指します。

#### <実施形態>

オンライン（Zoom）

#### <プログラム>

13:00-13:15 チェックイン・開会の挨拶・流れの説明

13:15-14:30 アクティビティ 1：異文化間教育に関する自分のこれまでのストーリー共有と幸せの源泉の発見

14:30-14:40 休憩

14:40-15:10 アクティビティ 2：これからの理想の働き方や仕事の内容をデザインする

15:10-15:50 アクティビティ 3：理想の働き方のシェアとメンバーからのフィードバック

15:50-16:00 全体のまとめ

実施に当たっては、各グループにネットワーク委員1名と、3名の参加者を配置。

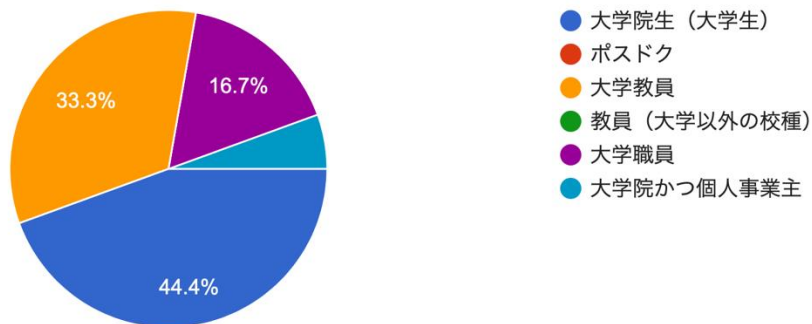
### 2. 参加状況

参加者16名（当日欠席2名）、ネットワーキング委員5名

#### <参加予定者プロフィール>

## プロフィール

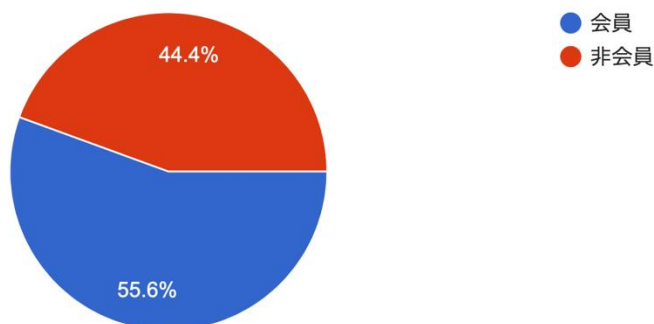
18件の回答



## <会員・非会員>

### 異文化間教育学会への入会状況（非会員の方も参加できます）

18件の回答



## 3. アンケート結果報告（事後アンケート回答者 10名）

ワークショップへの満足度 平均値 8.8（10点満点中）

ワークショップの今後への役立ち度 平均値 8.1（10点満点中）

## <ワークショップを通しての学びや感想>

就職してから、自分の現状や希望について振り返る機会はなかなかないので、貴重な時間となりました。

同じような興味を持っていらっしゃる方と出会う、貴重な機会でした。ありがとうございました。

自分自身と常に向き合いながら過ごしていることに気づいた

人と話すことが大事だなと改めて気づきました。  
グループのメンバーのストーリーを聴くことで、「この人は異文化をこう捉えているのか」「自分にもそんなことがあったな。これも異文化体験か」と気づくことができましたし、フィードバックをいただいたことも励みになりました。  
学会のワークショップとは思えないほど温かい雰囲気、話しやすかったです。「批評家にはお昼寝していただく」という意識が初めに共有されていたので、安心して参加することができました。

ライフストーリーを振り返る活動は授業などでもしばしば行っていましたが、自分自身の人生を久しぶりに振り返ってみると、今だからその気づきもあり、とても新鮮な気持ちになりました。ありがとうございました。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・内にあるものを言語化すること、他者からフィードバックを受けることの効果を実感しました。</li> <li>・委員の先生方のファシリテーションが素晴らしく、自身の学びにつながる部分がたくさんありました。</li> </ul>
自分の「気持ち」の棚卸し、夢マップの作成の重要性
いろいろな方と話し合い、「このような生き方があるね」を感じました。面白かったです。
他の研究者や学生の経験を聞いて、研究のみでなくて人生の行き方についても新たな気づきが得て、本当に嬉しいです。
ワークショップを通して色々な方のライフストーリーに触れることができ、異文化間教育においても色々な活動の仕方・取り組み方があると、自分は将来の進路などについてそこまで悩まなくても大丈夫かもしれないという気持ちになりました。 最後の「異文化間教育学会ではお互いサポートする風土があり、会議も楽しくアットホームな雰囲気だ」という一言でとても異文化間教育学会を信頼することができました。

### <全体の運営に関する意見・感想>

全体でも、グループワークでもファシリテーションのおかげで、とても参加しやすい雰囲気・流れに感じました。
対面でもやりたいです。またこういうワークショップがあったら出たいので連絡ください。
ご準備ならびに運営、お疲れさまでした。これまで運営サイドでしたが、今回は参加者としての参加だったので、大変気楽な気持ちでこの3時間を楽しむことができました。温かい場を作っていただき、自分自身が前向きな気持ちになれたのも、委員の皆様のご尽力の賜物と、感謝いたしております。ありがとうございました。
本日はありがとうございました。
応募する際に、ワークショップ概要はちゃんと見なかったのが、現実的な働き方や仕事の内容を交流すると思います。今回のワークショップは自分自身の振り返りとして、大事だと思えます。しかし、現実的な働き方や仕事の内容などの内容がもう少し増えればいいかなと思えます。
全体としてお話しする時間がちょっと足りなかった印象です。毎回最後は駆け足になってしまっていたので、各 break out session であと3'5分多めにいただけたら、対話が break out によって細切れにならないのかもしれないと思いました。

### <今後取り上げてほしいテーマ>

大学職員視点の国際交流についても知りたい
引継ぎの時にも提案をさせていただきましたが、オンライン交流会の後、地域ごとにリアルで集まって飲み会ができたりすると、さらに強固なネットワーク構築ができそうな気がしています。ご無理のない範囲でご検討をいただけますと幸いです。
他のメンバーの方で話をきいてみたい方がいたので、経歴や関心テーマを公開した上で話をしたい人を指名・グループ化する。
論文投稿とか論文執筆のワークショップがいただければすごく助かります。

## 4. 振り返り

今回のイベントでは、参加者にこれまで異文化間教育に関してやりがいや面白みを感じたエピソードを小グループでシェアしてもらうことで、改めて自分の教育実践や研究に大切なことを意識してもらうと同時に、グループ内でのフィードバックを通して参加者同士の相互理解を深められることを主な目的とした。

ワークショップの事後アンケートを見る限り、参加者の多くが自分の価値観や興味を改めて意識できたこと、参加者同士の理解や繋がりを深められたことが見てとれる。また、全体の満足でも8.8と比較的高い。今回は新しい会員の獲得も意図して、非会員も参加できるようにしたが、参加者の半数近く(44%)が非会員であったことも特徴的であった。今回はオンラインで行ったが、対面で参加してみたいとの声もあった。もし対面で行う場合は、その後の茶話会や食事会などをセットすることで、会員同士のさらなる交流を深めても良いかもしれない。

今後の課題やアイデアとしては、特に大学院生やキャリアが浅い参加者から、異文化間教育者としても具体的なキャリア形成や働き方についても聞いてみたいとの意見があったことから、2回目のイベントでは研究のみでなくキャリア形成についての悩みがある場合は対応できるように工夫したい。また、広報についてはイベントの1ヶ月ほど前から始めたものの、リマインドや過去のイベントに参加してくれた方々への広報も2週間前くらいに再度行うなどして、十分な参加者の確保に努めたい。加えて、今回は非会員の参加者が比較的多かったが、非会員が学会に入りたいと思えるような仕掛けを委員会メンバーでももう少し工夫したいと考えている。